

# 暮らしを包み込む緑

Living in a green environment



匝瑳市にあふれる緑は植木だけではありません。巨樹・巨木の多さも全国トップクラスで、そのほとんどが寺社や民家など山林ではなく身近に存在しており、市内の広範囲に存在することが特徴です。また、巨樹・巨木に限らず、歴史ある木々や生活に密接に関わってきた里山など、緑は古くから私たちの暮らしを温かく見守ってきました。

We are blessed with many old and venerable trees that have grown naturally throughout the city. The trees coexist with and are intermingled into the daily lives of the city.



- 1. 安久山の大シイの木** 幹周り10m、樹高25mと、全国でも有数のシイの木ですが、必見すべきはその根。板根状の根回りは今にも歩き出しそうなほど曲がりくねり、自然の持つ力強さがひしひしと伝わってきます。古民家を包み込むように大きく広がる枝ぶりと合わせて、見る者を圧倒します。
- 2. 黄門桜** 黄門様お手植えと伝わるヤマザクラ。毎年4月中旬ごろに満開になり、市内外から観光客が訪れます。幹周り5.5m、樹高約7m、葉張り約16m。
- 3. 龍頭寺の大フジ** 樹齢100年を超えるといわれる木積地区・龍頭寺のフジ。枝から地面に垂れ下がる花房は1~1.5mにもなります。また、同地区には300本余りのフジが咲き誇ります。
- 4. 里山** 市域北部に広がる里山では、春には田植えが行われ、夏になると田畑の緑がまぶしく輝きます。木々の深い緑と木陰が懐かしい日本の風景を思い起こさせてくれます。

## 楽しいからこそ続けられる

この周りの里山で見られる新緑は、常緑樹と落葉樹がモザイク状に混じり、東北や信州にも負けない「日本一」のものだと思っています。多くの人にこの風景を見てもらいたくて、平成15年から毎年、庭園の公開を行う「ガーデン・オープン・チャリティ」を実施しています。

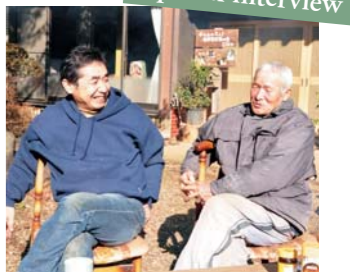
木下さんには、6年ほど前から庭や周辺の里山整備を手伝ってもらっていますが、やはりやっていて楽しいですね。楽しいからこそ続けられる。ですが、2人ではとても手が足りている状態ではありません。楽しいと思って活動に参加してくれる人が増えると、より良い里山の状態を保てるでしょうし、それを見にたくさんの方が訪れてくれて、日本の原風景としてPRできるんじゃないでしょうか。ぜひ、多くの人に里山の素晴らしさを感じてもらいたいですよね。

大シイの木のそびえる平山邸の主人 平山 喜人さん (成田市) 写真左

平山さんは市外に住んでいて勤め人でもあるので、私は地元で少しでも力になればと思い、毎週末に平山邸の庭や周りの里山の整備を手伝っています。手間はかかるけど決して苦じゃない、大変だと思ったことはないですね。

この地域の里山はNHKの「映像に残したい日本の里山100選」に選ばれたほどのものだから、全部をきれいにしたい。ですが、平山さんと2人だけでは限界もあるので、この家の周りだけは市内のどの場所や文化財にも負けないよう、誰よりも精一杯取り組んでいるつもりです。「匝瑳市にはこういうすごいところがあるんだ」と思ってもらいたくて、今よりもこの先より良くするためにはどうすればいいか知恵を絞って、真心こめて頑張っていますよ。

里山の管理人 木下 芳一さん (安久山) 写真右



Special interview

